



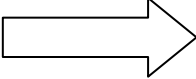


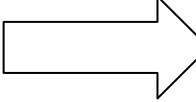

小学部：国語・算数

名称	何番がない？
教科・領域	国語・算数
対象	小学部 4 年生
指導形態	集合学習（5名）
<p>写真等</p> 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 から 6 までの数字の順番がわかる。</li> <li>・ 1 から 6 までの数字で、抜けているのがどれかわかる。</li> </ul>
使い方	<p>① 「ハトのレースが始まります。」といいながら、1 番から順にハトを登場させる。全部並んだら、全員で声を出して数える。</p> <p>② 『ハトポップ』の歌を歌い出すと、すべてのハトがまめを食べに飛び立ってしまう。少し間をおいて、ハトが 1 羽ずつ戻ってくる。一羽だけ戻ってこないのが、何番のハトが戻ってこないのか質問する。</p> <p>③ 繰り返し行い、全員の児童に質問する。</p>
作り方	<p>① ハトの絵を書いた画用紙を割り箸に付ける。</p> <p>② ダンボール箱に等間隔に穴を 6 つ開ける。</p>




小学部：国語・算数

<p>名称</p>	<p>1～10の数</p>
<p>教科・領域</p>	<p>国語・算数</p>
<p>対象</p>	<p>小学部 4年生</p>
<p>指導形態</p>	<p>1対1の個別指導</p>
<p>写真等</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数字の絵を見て、自分の指で形をつくることができる。</li> <li>・ドットや絵柄を数えて、指数字と対応させることができる。</li> <li>・数字と指数字と絵柄を対応させることができる。</li> <li>・数詞を唱えながら数えて、数字を読むことができる。</li> <li>・10までの数の概念を理解する。</li> </ul> <p>* 児童の実態に応じて、3まで、5まで、10までの数とねらいを設定する。</p>
<p>使い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドットや絵柄のカードを提示し、教員と一緒に数えて指数字をつくる学習を行った後に、対応する指数字のカードを選択させる。</li> <li>・絵柄、指数字、数字の対応について、提示する順番や組み合わせを変化させながら繰り返し学習させる。</li> </ul>
<p>作り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エクセルで数字とイラストを作成しカラープリントする。</li> <li>・厚紙に貼りブックカバーをして、裏にマグネットシートを貼る。</li> <li>・ホワイトボードに5ミリ幅にカットしたカラーマグネットシートで縦、横の枠を作る。</li> </ul>

小学部：国語・算数


<p>名称</p>	<p>玉入れ：玉の数をかぞえる。</p>
<p>教科・領域</p>	<p>国語・算数</p>
<p>対象</p>	<p>小学部4年生（パンダグループ 8名）</p>
<p>指導形態</p>	<p>全体学習</p>
<p>写真等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>かぞえる</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>実際の授業場面で</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玉入れを楽しむ。</li> <li>・ 10までの数唱で数える。</li> <li>・ 玉の数の多少を考える。</li> </ul>
<p>使い方</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童2名が玉入れをする。（赤と黄の玉）</li> <li>② 入った玉を教員が箱の中に一個ずつ入れて児童と一緒に数唱する。</li> <li>③ どちらが多いが考えさせる。</li> </ol>
<p>作り方</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 玉は赤と黄の布に、スポンジをつめて、10個ずつ縫う。</li> <li>② 空き箱を利用して、玉が入る大きさの10区切りの箱を2個作り、裏にマグネットを貼る。（カッターやボンドを使用）</li> <li>③ 2つの箱の間に箱と同じ高さの台を作り、表に1～10の数字を、裏にマグネットを貼る。</li> </ol>

小学部：国語・算数

<p><b>名称</b></p>	<p>クロスゲーム</p>
<p><b>教科・領域</b></p>	<p>国語・算数</p>
<p><b>対象</b></p>	<p>小学部4年生</p>
<p><b>指導形態</b></p>	<p>集団学習（6名）</p>
<p><b>写真等</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>原本</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>児童へ配布する用紙</p>  <p>メモして解答する</p>  </div> </div>	
<p><b>ねらい</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左右がわかる</li> <li>・ 順番を数える</li> <li>・ 聞いてメモを取る</li> <li>・ 形から答えを創造する</li> </ul>
<p><b>使い方</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童が、日付・名前を書く。</li> <li>② 教員が、1つ目の塗るマスの位置を言う。 (「左から2番目、上から6番目」など)</li> <li>③ 児童は、聞き取ってメモをする。</li> <li>④ 児童は、メモを見て、1つ目のマスを塗る。</li> <li>⑤ 同じように、2つ目、3つ目、4つ目、5つ目を行う。</li> <li>⑥ 児童は、完成した形を見て、答えを書く。</li> </ol>
<p><b>作り方</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① エクセルを利用して、日付、名前、6×6のマス、答え、メモの枠を作成する。</li> <li>② 解答用紙を作る。(教員が読み上げるもの)</li> </ol> <p>※実態に応じて、ひらがな、漢字表記を変更したり、右利き、左利きに応じてマスの位置を変えたり、マスの上下左右のヒントを消したりする。</p>

<p>名称</p>	<p>「はらぺこ兄弟」(おやつ配りパネル)</p>	
<p>教科・領域</p>	<p>国語・算数</p>	
<p>対象</p>	<p>小学部 1 年生</p>	
<p>指導形態</p>	<p>集団学習</p>	
<p>写真等</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 65%;">     </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>歌 (一部)</p> <p>ぼくたちはらぺこ兄弟。 今日のおやつは何かな？ 「今日のおやつは、りんごが 1 個」 →児童を指名。前に出ておやつを貼る。</p> <p>→数を確認 (数カードを貼る等) なかよくみんなでいただきます。</p> <p>あー お腹いっぱい、いい気持ち</p> </div> </div>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 注目して見る。</li> <li>・ 指示を聞いてパネルを貼る。(指名されたら前に出てパネルを貼る)</li> <li>・ 同じ数ずつ分ける。(1 対 1 対応ができる)</li> </ul> <p style="text-align: center;">* 児童の実態に応じてねらいを設定する。</p>	
<p>使い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌にのせて行う。</li> <li>・ 「今日のおやつは、りんごが 1 個」と示した上で、指名する。</li> <li>・ 指名された児童は前にでておやつを貼る。</li> <li>・ 正解か数を確認する。</li> </ul>	
<p>作り方</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① P ペーパーに豚のキャラクターを描く。</li> <li>② 豚の上に紙皿を貼り付け、紙皿全体にマジックテープを貼る。</li> <li>③ 「りんご」や「みかん」、「飴」などのおやつ絵を描く。糊パネルに貼り付け厚みを出す。裏にマジックテープを貼っておく。</li> <li>④ 数カードを用意する。</li> <li>⑤ 児童が操作しやすいように必要があれば、おやつを入れておくカゴ等を用意しておく。</li> </ol>	

小学部：国語・算数

名称	なんばんめ？
教科・領域	国語・算数
対象	小学部 4 年生
指導形態	集団学習（5名）
<p>写真等</p> 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 序数が分かる</li> <li>・ 指示された位置の物を選ぶことができる</li> </ul>
使い方	<p>★おなかが空いたアンパンマン★</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「右（左）から○ばんめ」と指定する （ことばで伝える児童、文字で伝える児童、両方で伝える児童）</li> <li>② 児童が選ぶ</li> <li>③ 選んだものをアンパンマンの口に入れる</li> <li>④ 正解の「ピンポン」の音を鳴らす</li> </ol> <p>①～④を繰り返す</p>
作り方	<p>★食べ物のボード★</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きなクリアケース（ハードタイプ）に線を引く</li> <li>・ クリアケースの中に、列ごとに色分けできるように、折り紙を入れる</li> <li>・ 模型と、クリアケースにマジックテープを貼る</li> </ul> <p>※上の教材は、“左右”から数えて○番目のバージョン。テープ（線）の引き方と、手掛かりの折り紙を帰ればすぐに、“上下”バージョンに変更も可能。また、折り紙をはずせばすぐに、手掛かりを外していくこともできる。また、色の手掛かりをつけずに、線を左右上下に引いて、「（左右）から○番目の、（上下）から○番目」と2方向から指定された物を選ぶようにステップアップすることもできる。</p>